



沖縄地区税関 管内貿易概況(速報)

平成 31 年 3 月分

(増減・伸率は対前年同月比)

●今月のポイント

●輸出

・**輸出総額は 12 億 33 百万円、対前年同月比 8.9%減(2 カ月ぶりの減少)**

- ・主な減少品目は「魚介類及び同調製品」(▲55.7%)、「金属鉱及びびくず」(▲22.1%)、「精密機器類」(▲57.5%)
(主な増加品目は「一般機械」(84.3%)、「肉類及び同調製品」(2.2 倍)、「輸送用機器」(45.0%))
- ・国別構成比は香港(17.1%)、台湾(15.5%)、ベトナム(14.5%)、中国(9.4%)、韓国(8.9%)

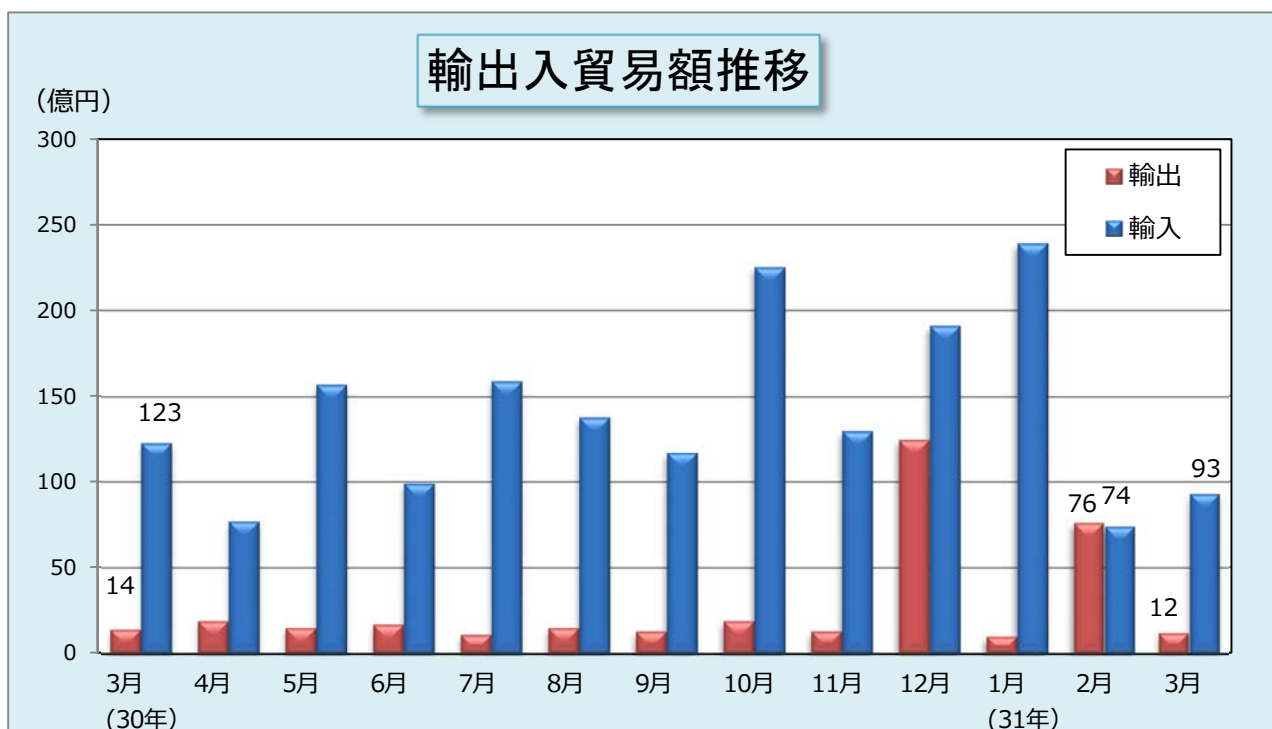
●輸入

・**輸入総額は 93 億 43 百万円、対前年同月比 24.0%減(4 カ月連続の減少)**

- ・主な減少品目は「輸送用機器」(▲97.7%)、「穀物及び同調製品」(▲56.4%)、「木製品及びコルク製品(除家具)」(▲43.9%)
(主な増加品目は「石油製品」(20 倍)、「家具」(2.1 倍)、「非金属鉱物製品」(92.7%))
- ・国別構成比は韓国(23.8%)、中国(16.3%)、オーストラリア(12.9%)、アメリカ(9.3%)、インドネシア(7.8%)

●差引

・**差引額は 81 億 11 百万円の入超(前年同月は 109 億 41 百万円の入超)**



1. 輸出動向

(1) 主要品目別動向

品名(金額・伸率)	構成比	主要国(金額・伸率)
1 一般機械 (2億70百万円、84.3%)	21.9%	台湾(48百万円、46.7倍) 香港(47百万円、3.8倍)
2 パルプ及び古紙 (1億97百万円、▲5.0%)	15.9%	中国(71百万円、▲29.6%) 台湾(49百万円、2.0倍)
3 金属鋳及びびくず (1億82百万円、▲22.1%)	14.8%	ベトナム(96百万円、全増) 韓国(36百万円、▲82.1%)
4 飲料 (95百万円、4.3%)	7.7%	台湾(27百万円、▲33.0%) アメリカ(15百万円、29.2%)
5 肉類及び同調製品 (82百万円、2.2倍)	6.6%	香港(63百万円、4.2倍) シンガポール(12百万円、3.0倍)
<p>増加品目(増加額・伸率) 主な増加国</p> <p>1 一般機械(+1億24百万円、84.3%) 台湾、香港</p> <hr/> <p>2 肉類及び同調製品(+45百万円、2.2倍) 香港、シンガポール</p> <hr/> <p>3 輸送用機器(+19百万円、45.0%) スリランカ、アラブ首長国連邦</p> <hr/> <p>減少品目(減少額・伸率) 主な減少国</p> <p>1 魚介類及び同調製品(▲72百万円、▲55.7%) グアム、香港</p> <hr/> <p>2 金属鋳及びびくず(▲52百万円、▲22.1%) 韓国、台湾</p> <hr/> <p>3 精密機器類(▲48百万円、▲57.5%) 韓国</p> <hr/>		

(2) 主要国別動向

国名(金額・伸率)	構成比	主要品目(金額・伸率)
1 香港 (2億10百万円、3.9%)	17.1%	肉類及び同調製品(63百万円、4.2倍) 一般機械(47百万円、3.8倍)
2 台湾 (1億91百万円、▲5.0%)	15.5%	パルプ及び古紙(49百万円、2.0倍) 一般機械(48百万円、46.7倍)
3 ベトナム (1億78百万円、2.1倍)	14.5%	金属鋳及びびくず(96百万円、全増) 一般機械(46百万円、3.7倍)
4 中国 (1億16百万円、▲2.6%)	9.4%	パルプ及び古紙(71百万円、▲29.6%) 金属鋳及びびくず(24百万円、全増)
5 韓国 (1億10百万円、▲62.6%)	8.9%	金属鋳及びびくず(36百万円、▲82.1%) 精密機器類(33百万円、▲59.7%)

2. 輸入動向

(1) 主要品目別動向

品名(金額・伸率)	構成比	主要国(金額・伸率)
1 石油製品 (20億19百万円、2.0倍)	21.6%	韓国(20億4百万円、13.6倍)
2 石炭 (17億16百万円、▲5.1%)	18.4%	オーストラリア(10億60百万円、3.3%) インドネシア(5億46百万円、▲22.0%)
3 肉類及び同調製品 (7億13百万円、3.9%)	7.6%	スペイン(2億円、2.3倍) デンマーク(1億20百万円、▲46.7%)
4 一般機械 (4億82百万円、▲5.8%)	5.2%	アメリカ(2億4百万円、2.9倍) 韓国(99百万円、4.2倍)
5 その他の雑製品 (4億34百万円、▲2.3%)	4.6%	中国(1億83百万円、25.3%) ベトナム(47百万円、47.5%)
<p>増加品目(増加額・伸率) 主な増加国</p> <p>1 石油製品(+10億16百万円、2.0倍) 韓国、台湾</p> <hr/> <p>2 家具(+1億64百万円、2.1倍) 中国、イタリア</p> <hr/> <p>3 非金属鉱物製品(+1億円、92.7%) 中国、台湾</p> <hr/> <p>減少品目(減少額・伸率) 主な減少国</p> <p>1 輸送用機器(▲36億12百万円、▲97.7%) アメリカ、タイ</p> <hr/> <p>2 穀物及び同調製品(▲3億19百万円、▲56.4%) タイ、オーストラリア</p> <hr/> <p>3 木製品及びコルク製品(除家具)(▲1億71百万円、▲43.9%) マレーシア、インドネシア</p>		

(2) 主要国別動向

国名(金額・伸率)	構成比	主要品目(金額・伸率)
1 韓国 (22億24百万円、5.6倍)	23.8%	石油製品(20億4百万円、13.6倍) 一般機械(99百万円、4.2倍)
2 中国 (15億21百万円、▲16.0%)	16.3%	家具(2億13百万円、2.4倍) その他の雑製品(1億83百万円、25.3%)
3 オーストラリア (12億1百万円、5.5%)	12.9%	石炭(10億60百万円、3.3%) 飼料(48百万円、18.2%)
4 アメリカ (8億72百万円、▲80.2%)	9.3%	一般機械(2億4百万円、2.9倍) 電気機器(81百万円、28.3%)
5 インドネシア (7億29百万円、▲18.6%)	7.8%	石炭(5億46百万円、▲22.0%) 木製品及びコルク製品(除家具)(53百万円、▲53.5%)

- ◆本資料における貿易額は、管内各官署が管轄する区域に蔵置された貨物の通関額です。
- ◆「再輸出品」とは本邦から輸出する外国産貨物をいい、「再輸入品」とは本邦に輸入する内国産貨物をいいます。
- ◆税関ホームページ内「貿易統計」ページでは、下記資料の検索・閲覧が可能です。
《ホームページアドレス <http://www.customs.go.jp/>》
 - 各種貿易統計データの検索（品目・国・税関ごとの貿易額、船舶・航空機統計等）
 - 財務省及び各税関（地域）の貿易統計発表資料、その他の参考資料
- ◆本資料を引用する場合は、沖縄地区税関の資料による旨を注記して下さい。
- ◆不明な点がございましたら、下記連絡先へお問い合わせ下さい。

沖縄地区税関 調査統計課
沖縄県那覇市港町2-11-1 那覇港湾合同庁舎3階
TEL. 098-862-9650

